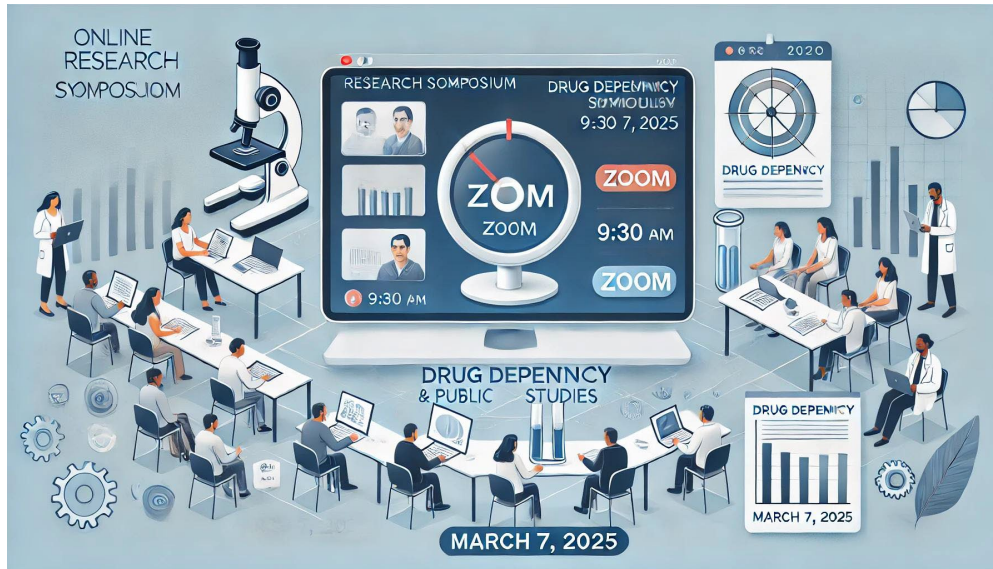




国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

## 合同研究成果報告会（令和6年度）



日時：2025年3月7日（金）9:30～17:00

Zoomによるオンライン開催（部分参加歓迎）

参加ご希望の方は、以下の Zoom ミーティングより、ご入室ください。（先着 300 名様）お申し込みは不要です。

<https://zoom.us/j/99647705877?pwd=ItDkIrRd04frrz8WZYBCxyS0oyB6QB.1>

ミーティング ID: 996 4770 5877

パスコード: 167029

- 1) 司会・発表者以外、マイクはミュートでお願いします。
- 2) アカウント名は、お名前+ご所属を記載してください。
- 3) 質疑応答の時間を設けています。ご質問があればチャット機能をお使いください。必要に応じて、司会者がマイクのミュート解除をお願いする場合がございます。

【問い合わせ先】月、水、木、金 10:00～16:00

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

電話：042-341-2712（内線 6338）担当：内海、清水

FAX：042-346-1954 メール：[takuya@ncnp.go.jp](mailto:takuya@ncnp.go.jp)（心理社会研究室）

## プログラム

### 第 1 部：薬物乱用・依存状況の実態把握のための全国調査と近年の動向を踏まえた大麻等の乱用に関する研究

研究代表者：嶋根 卓也（薬物依存研究部 心理社会研究室長）

9:30～9:35 研究代表者挨拶

9:35～10:05 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（2024年）  
嶋根 卓也（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

10:05～10:35 全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査（2024年）  
松本 俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

10:35～11:05 救急医療における薬物関連中毒症例に関する実態調査：一般用医薬品を中心に  
上條 吉人（埼玉医科大学 臨床中毒科）

11:05～11:35 米国における嗜好用大麻の合法化が在米日本人の意識・行動に与える影響に関する研究  
Tooru Nemoto（Public Health Institute, U.S.）

11:35～12:05 豪州における大麻規制の現状と青少年に対する予防教育に関する研究  
富山 健一（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

12:05～12:10 研究代表者挨拶・事務連絡

昼休憩（50分）

### 第 2 部：濫用等のおそれのある医薬品の成分指定に係る研究

研究代表者：嶋根 卓也（薬物依存研究部 心理社会研究室長）

13:00～13:05 研究代表者挨拶

13:05～13:35 全国の依存症専門医療機関を受診する患者における市販薬乱用の実態に関する研究  
嶋根 卓也（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

13:35～14:05 濫用等のおそれのある医薬品の追加候補となる薬剤に関する文献的調査  
富山 健一（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

14:05～14:35 ソーシャル・ネットワーキング・サービスを情報源とするテキストマイニン

グおよび予防啓発に関する研究  
喜多村 真紀（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

14:35～14:40研究代表者挨拶・事務連絡

休憩（10分）

**第3部：厚生労働省 依存症に関する調査研究事業ならびに精神・神経疾患研究開発費  
研究代表者：松本 俊彦（薬物依存研究部 部長）**

14:50～14:55研究代表者挨拶

14:55～15:25保護観察の対象となった薬物依存症者に対する回復支援に関する研究  
松本 俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

15:25～15:55更生保護施設における薬物依存者支援の課題と地域連携体制のあり方に関する研究  
森田 展彰（筑波大学医学医療系社会精神保健学）

15:55～16:25薬物依存症者に対する地域支援体制の実態と均てん化に関する研究  
藤城 聡（愛知県精神保健福祉センター）

16:25～16:55覚醒剤使用障害に対する薬物療法の開発を目指した脳機能画像研究  
沖田恭治（国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部）

16:55～17:00 研究代表者挨拶・事務連絡

17:00～17:05閉会挨拶

以上